

CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14-11 鳥和三田ビル8階

お問合電話:+81-3-6453-9601

2021年4月27日

2020年 世界の黒鉛生産状況

イギリスの価格報告機関ベンチマークミネラルインテリジェンス (Benchmark Mineral Intelligence) によると、電気自動車販売量の急増と蓄エネ産業の進展がリチウムイオン電池の超大型工場の建設を継続的に推進しており、今後10年間はリチウムイオン電池用負極材が黒鉛需要を7倍に増やす可能性があるとしている。

過去数年間は何回か黒鉛価格が調整されたこともあったが、これからは供給逼迫と電池産業の需要増が天然黒鉛価格の上昇を後押しするだろう。

2020年、中国は黒鉛生産量で世界1位となり、モザンビークが第2位、ブラジルが第3位となった。

中国は片状黒鉛の採掘と正極材の精製で主導的な役割を果たしている。

アメリカ地質調査所 (US Geological Survey) が公表した「Mineral Commodity Summaries-2021」の黒鉛生産量トップ10の国と生産量は下表の通りである。

表 黒鉛生産量トップ10の国と生産量 (2020年)

| 順位 | 国別 | 生産量 (万トン) |
|----|--------|-----------|
| 1 | 中国 | 65 |
| 2 | モザンビーク | 12 |
| 3 | ブラジル | 9.5 |
| 4 | マダガスカル | 4.7 |
| 5 | インド | 3.4 |
| 6 | ロシア | 2.4 |
| 7 | ウクライナ | 1.9 |
| 8 | ノルウェー | 1.5 |
| 9 | パキスタン | 1.3 |
| 10 | カナダ | 1 |

出典: ICC 資料より、CMI が整理

情報源: ICC 資料より整理作成。